

地域医療体制の維持向上

済生会境港総合病院では、医師不足等により、救急患者の受け入れ制限や入院病床の削減を余儀なくされており、市民が安心して医療を受けられる体制を守る事が難しくなっています。

済生会病院を中核とする地域医療体制の維持向上のため、引き続き国や鳥取県に対して抜本的な医師不足対策を要望してまいります。

4 安心で住みよい生活基盤の充実

夕日ヶ丘の環境整備を中心とした定住促進に努めつつ、米子空港整備関連事業の促進、公共下水道をはじめとする快適な生活環境の整備、さらには防災体制の整備を進め、安心して住みよい生活基盤の充実をめざします。

具体的には次のような取り組みを進めます。

夕日ヶ丘への商業施設等の誘致、親水公園の整備

夕日ヶ丘につきましましては、引き続き商業施設や利便施設の誘致に努めるとともに、かねてから苦情の多かった悪臭などの環境改善を図るため、隣接する事



環境改善のため、新たに取得した事業所跡地

業所の用地を取得し、親水護岸や公園などとして整備することを通じて、一層の市街化の促進につなげてまいります。

米子空港整備地域振興計画事業の実施

米子空港滑走路延長事業に伴う地域振興計画につきましては、平成19年度末現在で進捗率が50・3%となっておりますが、

今後引き続き事業の優先度等を精査し、鳥取県と連携して実施してまいります。



順調に進む米子空港滑走路延長事業

また、市道外浜線のう回箇所歩道整備につきましては、米子市と十分協議しながら、早期に完成するよう努めます。



市道外浜線う回路

公共下水道の整備促進

本市における公共下水道の普及率は、平成19年度末時点で45・6%となっており、平成23年度末には、境地区の大正川東側までと上道地区の整備を図り、54・0%の普及率を見込んでおります。

また、近年の気候変動などにより、集中豪雨の頻度が高まっておりますが、浸水対策として、雨水幹線の整備も進めてまいりたいと考えており、今後、市民の生活環境の改善と公共水域の水質保全を図るため、公共下水道の普及促進に努めてまいります。

遊休農地の解消

遊休農地につきましましては、本

年度中に、耕作が放棄されているすべての農地を対象に現地調査することとしており、この調査により、農地の実態を的確に把握し、特に農業利用のできる農地について、それぞれの農地の状況に応じた解消計画を立て、遊休農地の解消に取り組んでまいります。

防災体制の整備

普段からの人々の交流を通じた「自分たちのまちは自分たちで守ろう」という住民活動は、地域の防災力を高め、安全で住みやすい地域づくりを進めるうえからも大変重要であると考えております。

災害時などに高齢者や障害のある方などの安否確認や避難誘導が迅速に行われるよう、隣近所の支え合いによって援護が必要な方を支援していく体制づくりや、自主防災組織の育成強化など、地域ぐるみの防災力向上に向け、防災体制の整備に取り組んでまいります。



大規模地震を想定して行われた避難誘導や安否確認の図上訓練

また、鳥取県西部地震や、その後も各地で頻発する地震の教訓を活かし、震災における被害から市民の生命と財産を守るため、本年策定した「境港市耐震改修促進計画」に基づき、建築物の耐震化を促進してまいります。

渡漁港の整備

大橋川改修に伴う中海の護岸整備計画の中で、特に渡漁港の護岸整備につきましては、国土交通省から、水門設置や護岸嵩上げによる参考案が示されているところですが、現在、事業主体や事業着手時期等の詳細について、国、鳥取県と協議を進めているところであり、できるだけ早い時期に、地元説明を行い、事業着手につなげてまいりたいと考えております。



護岸整備について、協議が進められている渡漁港